

こんな活動です

学校・家庭・地域の協働！！地域ぐるみで子供を育むための仕組みづくり

青森県中泊町

活動名

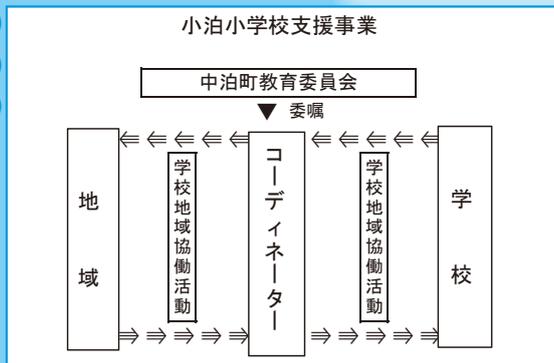
小泊小学校学校支援事業

関係する学校名

小泊小学校

基本データ	学校支援活動	●	総括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 23人	学習支援 有	開始年度 25年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無	
	地域未来塾		総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	●	総括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 5人	年間開催日数 20日	開始年度 19年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 有	
	実施場所		中泊町立小泊小学校体育館等		学習支援		放課後児童クラブとの連携				
	連携型		無								
	土曜日の教育活動		総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール		指定日					委員会	児童生徒数	学級数		

体制図



【学校支援活動】

平成 25 年度に国庫補助事業としてスタートした。町教育委員会の委嘱によりコーディネーターが 1 名配置され、学校と地域をうまく結びつけ、協働活動を推進している。コーディネーターが地域の実情に大変詳しいので、学校のニーズに的確に対応し、多くの地域住民が参加して活動している。活動内容も、地域人材や地域資源を生かし、充実している。

【放課後子ども教室】

平成 19 年度にスタートし、10 年目を迎えている。町教育委員会職員がコーディネーターを担い、年間 20 回開設（概ね土曜日で月 2 回）している。放課後児童クラブとも連携・協働し、年 4 回、子供が喜ぶ特色ある体験活動を実施している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

【学校支援活動】

- ・小泊漁協との連携・協働し、漁協施設の見学をしている。また、総合的な学習の時間の単元「小泊名人」で漁師さんのお話を聞いたり、小泊漁協婦人部の指導で小泊名産「さざえ」のカレー作りをしたりするなど、地域の人材、資源を活用した学習が継続的に行われている。
- ・ボランティア登録者への依頼だけでなく、学校のニーズに合わせて、地区婦人会などに幅広く声をかけることにより、多くの地域住民がボランティアとして参加し、花壇・畑などの学校環境整備、見守りによる子供の安全確保、読み聞かせ、家庭科のミシンの指導補助など、多様に学校支援活動が行われている。

【放課後子ども教室】

- ・体験教室を企画し、積極的に屋外へも出て、町内外の資源等を活用することにより、普段できない様々な体験活動を行っている。（例：サクランボ狩り体験（つがる市）、なぎなた教室、段ボールピザ作り等）

【実施に当たっての工夫】

- ・学校側（教頭）とコーディネーターとの打合せの機会を日常的にとり、学校のニーズに合った学校支援活動が行われている。また、コーディネーターと教職員と地域住民（ボランティア）との連携・協働も日常的に図られ、アットホームな雰囲気の中で活動が行われている。
- ・学校支援活動をする地域住民が活動の喜びを感じることができるよう、成果等を学校だより等で地域住民に発信している。
- ・活動の継続性につながるよう、こまめに活動の記録を残している。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・学校と地域の窓口をコーディネーターに一本化することで、学校・家庭・地域の連絡調整が的確かつ迅速になり、それが学校支援活動の充実につながっている。支援してくれる地域住民にはお年寄りの方が多く、活動の様子から、その方々にとっても学校支援活動する楽しさ、子供とふれあう喜びを感じていることがわかる。
- ・小泊漁協と連携・協働していることで、支援してくれる人材を確保しやすくするとともに、学校支援活動の継続性にもつながっている。
- ・多くの地域住民が学校のニーズに合った学校支援に参画していくことで、学校と地域の結びつきが深まり、学校を核とした地域づくりが進んできている。



サクランボ狩り



「小泊名人」のお話